

## 「令和4年度病害虫発生予報第2号」の発表について

○向こう1か月の主要な病害虫の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

- ・ 麦類では、赤かび病の発生が、北陸及び東海の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 野菜類では、たまねぎのべと病の発生が、北関東、近畿及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 果樹・茶では、果樹カメムシ類の発生が、北東北、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、なしの黒星病等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

### 国の発生予察情報について

国は都道府県の協力の下、植物防疫法（昭和25年法律第151号）に基づき、有害動植物の防除を適時で経済的なものにするため、気象、農作物の生育状況、有害動植物の発生調査の結果等を分析し、有害動植物の発生予察及び防除対策に係る情報（発生予察情報）を提供しています。

本予報は、都道府県が提供する発生予察情報を取りまとめた情報になりますので、地域における情報の詳細は、都道府県病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

国の病害虫発生予察情報及び都道府県病害虫防除所のリンク

参照URL:[https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120104\\_yoho.html](https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/boujyo/120104_yoho.html)

### 気象

気象庁の向こう1か月の予報（5月5日付け）では、気温は北日本で高く、沖縄・奄美で平年並か高いと予想されています。また、降水量は東・西日本と沖縄・奄美で平年並か多くなると予想されています。

気象庁ホームページ

参照URL:[https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001\\_00.html](https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001_00.html)（外部リンク）

## 水稻

水稻で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
水稻	イネミズゾウムシ		南東北、東海、近畿、中国、四国、北九州
	いもち病		南関東、北陸、四国、北九州
	縞葉枯病 (ヒメトビウンカ)		北海道、東海、近畿

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)は、昨年多発生となった地域では、多くの貝が越冬しているおそれがあります。被害を抑えるため、移植前に取水口・排水口にネットや金網を設置するとともに、水田内の発生が多い場合には石灰窒素の散布の実施を検討してください。

また、移植時は薬剤散布を実施し、移植後は水深を4cm(理想は1cm)以下に維持する浅水管理を実施してください。

なお、スクミリンゴガイは、農機具・機械に付着した泥とともに他のほ場へ拡散することがあります。発生ほ場で使用した後は泥をよく落としてから移動させるよう心がけてください。

農林水産省では、スクミリンゴガイの被害防止対策に関するマニュアルや動画などをホームページに掲載しています。詳しくは以下のURLからご覧ください。

スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の被害防止対策について

参照URL:<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/siryoyu2/sukumi/sukumi.html>

## 麦類

麦類で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
麦類	赤かび病	北陸、東海	北東北、関東、近畿、中国、四国

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

・赤かび病は、北陸及び東海の一部の地域で多くなると予想されており、岐阜県、愛知県、三重県及び滋賀県から注意報が発表されています。本病の防除は感染しやすい時期を捉えた防除が重要であり、下表のとおり、麦の種類ごとに防除時期が異なります。昨冬から今春にかけて早期に気温が上昇し高く推移した地域では、麦の生育が当初の予測よりも早まります。都道府県の提供する発生予察情報等を参考に、地域ごとの防除適期を確認して的確に防除を実施してください。なお、防除適期に降雨が続く場合は、降雨の合間に防除を実施してください。

麦の種類	最初の防除を行う生育時期
小麦	開花を始めた時期から開花最盛期まで
二条大麦	穂揃い期の10日後
六条大麦	開花を始めた時期から開花最盛期まで

## 野菜・花き

野菜・花きで各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
いちご	アザミウマ類	東海、四国、北九州	南関東、中国
	ハダニ類	北九州	北陸、四国
	うどんこ病	北関東、四国	
キャベツ	アブラムシ類	東海	近畿
きゅうり	アザミウマ類	四国	南関東、北九州
	べと病	北関東、四国	北九州
たまねぎ	べと病	北関東、近畿、四国	中国
トマト	コナジラミ類	東海	関東、近畿、北九州
	灰色かび病	南関東、四国	北関東、近畿、中国、九州
	葉かび病	北関東、北九州	中国
ねぎ	アザミウマ類		南関東、北陸、近畿、北九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

### たまねぎ

・べと病の発生が、北関東、近畿及び四国の一部の地域で多くなると予想されており、和歌山県から注意報が発表されています。ほ場を見回り、り病株の抜き取りを実施するとともに、都道府県から発表される発生予察情報等を参考に薬剤防除を的確に実施してください。

### いちご

・アザミウマ類は、東海、四国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は作物を加害するほか、多くの病原ウイルス病を媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

### きゅうり

・べと病の発生が、北関東及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。本病は葉のみに発生し、多湿条件で発生が助長され、多発すると葉が枯れ上がることにより減収につながります。施設栽培では、換気等により施設内の湿度管理を行うとともに、発生状況に応じて都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に薬剤防除を実施してください。

### トマト

・コナジラミ類の発生が、東海の一部の地域で多くなると予想されています。本虫は作物を加害するほか、多くの病原ウイルス病を媒介することが知られています。発生密度が高くなってからでは防除が困難となるため、ほ場の観察をきめ細かく行い、発生初期に防除を実施してください。

なお、本虫は薬剤抵抗性が発達しやすいので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に同一系統薬剤の連用を避けるなど、薬剤を適切に選定してください。また、農薬散布のみならず、天敵による生物的防除等の各種防除手段を組み合わせた防除の実施についても検討してください。

・**灰色かび病**の発生が、南関東及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。本病は、多湿条件で発生が助長されます。施設栽培では、換気をする等の湿度管理や伝染源となる病部の早期除去を実施するとともに、発生状況に応じて都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

なお、一部の薬剤に対して耐性菌が発生しているため、薬剤防除を実施する際には、同一系統薬剤の連用を避けるなど薬剤を適切に選定してください。

・**葉かび病**の発生が、北関東及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。本病は、多湿条件で発生が助長されます。施設栽培では、換気をする等の湿度管理や伝染源となる病部の早期除去を実施するとともに、発生状況に応じて都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期に防除を実施してください。

なお、一部の薬剤に対して耐性菌が発生しているため、薬剤防除を実施する際には、同一系統薬剤の連用を避けるなど薬剤を適切に選定してください。

## 果樹・茶

果樹・茶で各地の平年値より発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及びその地域

作物名	病害虫名	発生が「多い」と予想される地域	発生が「やや多い」と予想される地域
かき	炭そ病	近畿	東海、四国
かんきつ	かいよう病		東海、四国、北九州
	そうか病	東海	近畿、四国、北九州
なし	シンクイムシ類	東海	関東、北陸、中国
	ハマキムシ類	北陸	南関東
	黒星病	北陸、東海、近畿	南関東、中国、九州
	黒斑病	近畿	中国
ぶどう	べと病		甲信、東海、中国、北九州
もも	シンクイムシ類		
	せん孔細菌病	北陸、四国	
りんご	ハダニ類	北東北	南東北
果樹全般	果樹カメムシ類	北東北、東海、近畿	南関東、四国、北九州
茶	チャノホソガ	南関東	近畿、九州
	カンザワハダニ	北九州	東海、近畿
	ハマキムシ類	南関東、東海	近畿、南九州

注) 表中の地域については、必ずしもその全域で発生が見られるものではありません。

## もも

・**せん孔細菌病**の発生が、北陸及び四国の一部の地域で多くなると予想されており、香川県からは注意報が発表されています。本病は、春期に枝に形成される春型枝病斑（スプリングキャンカー）が伝染源となり、降雨や風により発生が助長されます。前年の発生が多かった地域では、当該病斑が形成されやすい環境となっているため発生が多くなると予想されます。園内を注意深く観察し、発病枝が確認されたら確実に除去してください。

## かんきつ

・**そうか病**の発生が、東海の一部の地域で多くなると予想されています。本病は葉や枝の病斑で越冬し、降雨等により新葉への感染が助長されます。園内を注意深く観察し、り病した枝や葉が確認されたら確実に除去してください。

## ■ なし

・**黒星病**の発生が、北陸、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。昨年の発生量が多かった地域では、伝染源が多くなっていると予想されることから、特に注意が必要です。対策に当たっては、伝染源となるり病部の除去、薬剤散布等の防除を実施してください。また、一部の薬剤に対して耐性菌が発生しているため、都道府県から提供される発生予察情報等を参考に効果的な薬剤による防除を実施してください。

## ■ 果樹全般

・**果樹カメムシ類**の発生が、北東北、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。山林等の越冬場所から離脱した成虫が春の気温の上昇とともに餌を求めて移動し、果樹全般を加害します。本虫の飛来状況は地域や園地により異なるため、都道府県の発表する発生予察情報等を参考にしつつ、園内の観察をきめ細かく行い、飛来が認められた場合は、飛来初期から防除を実施してください。

## ■ 茶

・**ハマキムシ類**の発生が、南関東及び東海の一部の地域で多くなると予想されています。ハマキムシ類の幼虫は、茶葉をつづり合わせて内部を食害しますが、葉をつづり合わせてからでは薬剤がかかりにくくなるため、ふ化期～若齢幼虫期を対象とした薬剤散布が効果的です。地域の予察等やフェロモントラップの誘殺状況を参考に、前世代成虫の発生最盛日の7日後程度を目安に防除を実施してください。

## 都道府県が発表した警報、注意報及び特殊報

令和4年4月13日以降、都道府県が発表している警報、注意報及び特殊報は以下のとおりです。

### 警報

発表はありません。

注)重要な病害虫が大発生することが予測され、かつ、早急に防除措置を講ずる必要がある場合に発表します。

### 注意報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
4月15日	長野県	トマト	トマト黄化葉巻病
4月20日	和歌山県	たまねぎ	タマネギべと病
4月21日	三重県	麦類	ムギ類赤かび病
4月26日	滋賀県	麦類	ムギ類赤かび病
4月28日	岩手県	りんご	ナミハダニ
4月28日	岐阜県	麦類	ムギ類赤かび病
4月28日	愛知県	麦類	ムギ類赤かび病
4月28日	香川県	もも	モモせん孔細菌病
5月9日	北海道	アブラナ科野菜	コナガ

注)警報を発表するほどではありませんが、重要な病害虫が多発することが予測され、かつ、早めに防除措置を講じる必要がある場合に発表します。

### 特殊報

発表月日	都道府県	対象作物	対象病害虫
4月27日	三重県	オリーブ	オリーブ立枯病
4月27日	兵庫県	小麦	コムギ縞萎縮病

注)各都道府県において、新たな病害虫を発見した場合及び重要な病害虫の発生消長に特異な現象が認められた場合に発表します。

病害虫の生態等の生物学的情報や防除に関する情報の詳細については、各都道府県の病害虫防除所のホームページ等を参照してください。

## 用語解説

### (地域)

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

北東北：青森県、岩手県、秋田県

南東北：宮城県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

北関東：茨城県、栃木県、群馬県

南関東：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

甲信：山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県、福井県

東海：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

北九州：福岡県、佐賀県、長崎県、大分県

南九州：熊本県、宮崎県、鹿児島県

沖縄：沖縄県

### (発生量(程度))

多い(高い)：やや多いの外側10%の度数の入る幅

やや多い(やや高い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

平年並：平年値を中心として40%の度数の入る幅

やや少ない(やや低い)：平年並の外側20%の度数の入る幅

少ない(低い)：やや少ないの外側10%の度数の入る幅

(平年値は過去10年間の平均)

### (参考)今後の発表予定日

第3号:6月8日(水曜日)

第4号:7月6日(水曜日)

第5号:7月20日(水曜日)

第5号:8月10日(水曜日)

第7号:9月7日(水曜日)

第8号:10月12日(水曜日)

第9号:11月9日(水曜日)

第10号:令和5年3月8日(水曜日)

### (参考)これまでの発表

第1号:4月13日(水曜日)

#### 【お問合せ先】

消費・安全局植物防疫課

担当者：岡田、麻野、吉田

代表：03-3502-8111(内線4562)

ダイヤルイン：03-3502-3382